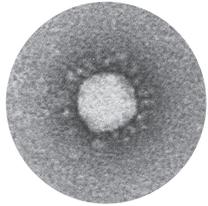


# 第8波から命まもる対策強化を

## 医療 深刻 コロナ対策で要請 日本共産党国会議員団



新型コロナウイルスのオミクロン株(東京都健康安全センターのホームページより)



記者会見する小池晃書記局長(右)と田村智子政策委員長。昨年12月26日、国会内

年末年始、医療の逼迫<sup>ひっばく</sup>、高齢者施設でのクラスターの多発、過去最悪の死亡者数など、新型コロナウイルス感染第8波の深刻な事態が起こっています。ところが政府からの感染に関する情報が全く伝わりません。無為無策を続ける岸田政権の責任は重大です。

### 国民への情報発信の強化を

日本共産党は12月26日、政府に緊急要請し、国民に対する情報発信の抜本的強化、病床確保、高齢者施設への支援強化などを提起しました。

発熱外来に対する体制確

保補助金が昨年3月末で打ち切られたことから、大阪などで年末年始の臨時体制が確保できない事態が生まれました。要請では財政措置の復活や診療報酬を手厚くすることなどを求めました。

### 大軍拡やめ医療支援こそ

岸田政権が大軍拡の財源のため、医療の中核を担う国立病院機構の積立金の返却を求めていることを厳しく批判。大軍拡をやめ、医療機関がコロナ対応に全力を注げるよう支援の強化を求めています。

折り返し

# タガ外れた暴走

# 岸田政権打倒

## 「戦争国家づくり」、原発回帰



## 希望持てる新しい政治を

岸田政権が、タガが外れたような危険な暴走を始めています。

敵基地攻撃能力保有と大軍拡を宣言した「安保3文書」の閣議決定、10兆円を超える軍事費を計上した来年度予算案など、憲法を破り、「専守防衛」をかなぐり捨てた、「戦争国家づくり」。原発でも、「原発依存度を限りなく低減する」「新增設・建て替えはしない」という政府方針を大転換させて原発回帰。

### 一片の閣議決定で強行

政府が原則としてきたことを選挙で審判を仰ぐことせず、国会にも国民にも相談せず、一片の閣議決定で覆す——こんな政治の横行を許すなら民主政治は根底から破壊されます。

戦後最悪の亡国政権に日本の政治は任せられません。力を合わせて岸田政権を打倒し、「国民が主人公」の希望ある新しい政治の流れをつくり出しましょう。

しんぶん 赤旗

日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月930円

お申し込みはお近くの党事務所か 党員までお願いします

近畿民報

2023年1月 No.3 (第532号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。